

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
中日本航空機広島新格納庫

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		基本設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.32					3.1
1 音環境		2.6	0.15					2.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 暗騒音レベル		3.0	1.00					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		3.0	0.35					3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温設定		3.0	0.38					
3 外皮性能		3.0	0.25					
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		2.6	0.25					2.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30					
1 昼光率		1.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
2 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.15					
1 照度		3.0	1.00					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		4.0	0.25					4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	基準法規制対象外材料の90%以上の使用	5.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50					
2 喫煙の制御	喫煙室を設け、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.4
1 機能性		3.2	0.40					3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.5	0.56					
1 広さ・収納性	一人当たりの執務スペースが9㎡以上	4.0	0.50					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.50					
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性		2.6	0.38					
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		4.0	0.06					
1 維持管理に配慮した設計	取組み項目10ポイント	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31					3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.48					
1 耐震性	大地震時に25%増の耐震性能を確保	4.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.4	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	非常用発電機を設け、受変電設備と共に屋上に設置	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	弱電用空配管により対応している	4.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.7	0.29			3.7
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31			
1	階高のゆとり	階高4.0m	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比<0.1	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.4	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性	配管により仕上材を傷めず更新可能	5.0	0.11			
4	通信配線の更新性	配管により仕上材を傷めず更新可能	5.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38			2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.2
LR1 エネルギー			-	0.40			3.0
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.06			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.27			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		ERR=0	3.0	0.40			3.0
4 効率的運用			3.0	0.27			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.9
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	超節水型器具及び擬音装置付	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.63			4.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎に高炉セメントを使用	4.0	0.21			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニール床材、壁紙にエコマーク商品を採用。建設汚泥再生処理土採用。	5.0	0.21			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが用意に分離可能	5.0	0.25			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22			3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	対象物質を含有しない建材種別が4つ以上	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68			
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33			
2	断熱材		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			2.8
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮			2.8	0.33			2.8
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制		3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33			2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.50			
2	振動		3.0	0.50			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40			
1	風害の抑制		1.0	0.70			
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			5.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物の証明を行っていない	5.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	グレア発生無し	5.0	0.30			